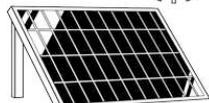


2019年問題についての講演会／エネルギー問題展示

# 屋根上ソーラーどうなるの？



## ～2019年問題を考える～



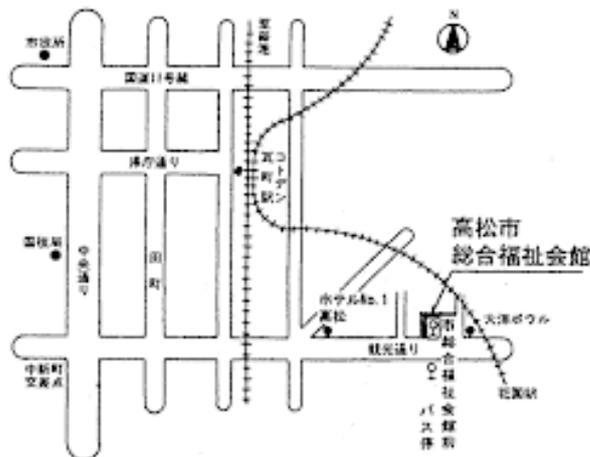
屋根に設置した太陽光発電の電気の買い取り期間が終わる住宅が、  
2019年11月以降、急激に増えます。これによって、  
電力会社に買い取り義務のない電力が大量に発生します。  
これが2019年問題です。

(注:四国電力は買い取りを続けることを発表していますが、買い取り価格は今のところ不透明です。)

住宅数では2019年11～12月に53万世帯200万kW、  
2023年までに累計で165万世帯670万kW、  
原発7基分に近い「燃料費タダ」の自然エネルギーの電力が、  
下手をすると宙に浮いて利用されなくなるおそれがあります。  
この問題について、ごいっしょに考えてみませんか？



- 講師：林 敏秋さん（再エネ工房）  
日時：2019年2月10日（日）13:30～15:30（開場は13:15）  
会場：高松市総合福祉会館 5階/第2会議室  
（高松市 観光通2丁目8-20）  
資料代：500円（事前予約不要）  
駐車場：あり（無料。台数に限りがあります）  
同時開催：自然エネルギー、エネルギー問題についての資料展示



主催：自然エネルギー100%社会学習会  
連絡先：TEL:087-813-0715

Mail: hibire@mb.pikara.ne.jp